

心一つに ~one heart, one mind~

宮之城



～ 校訓：誠実・向学・鍛練 ～

令和2年度 第3号 [令和2年7月22日(水)発行]

〒895-1803 薩摩郡さつま町宮之城屋地391

Tel 0996(53)1587 / Fax 0996(53)0504

・HP <http://www2.satsuma-net.jp/miyanojochu/>

・ブログ <https://blog.canpan.info/miyachu/>

・E-mail: syoku-c-miyanojo@mail.satsuma-net.jp

「無」なることで、新たな道がひらける。

校長 野添 誠

1学期は、保護者の皆様、地域の皆様大変お世話になりました。本校の生徒や職員に大きな事故もなく健康に過ごせたのも皆様のお陰です。ありがとうございました。

さて、だいぶ前に、理科の授業で、生徒から「先生！6月は梅雨時なのに、なぜ「水無月（みなづき）」というのですか？」と質問されたことがありました。なかなか、いい質問です。その生徒にとって、「無」とは「ない」とか「なし」という意味だけに捉えていたのですね。多くの方がもつ疑問だと思います。自分自身も前から疑問には思っていました。その理由を国語の授業で聞いた記憶はなく、すぐに返答できませんでした。

早速、調べてみると、「水無月（みなづき）」は旧暦の6月であり、その由来は、「田んぼに水を引く月」であることから「水無月」になったという説が有力らしいです。

実は、その「無」の意味は連体助詞とあって、名詞と名詞をつなぐ助詞で「無」は、「の」という意味なんだそうです。だから、「水無月」は「水の月」という意味になります。そうすると、旧暦の10月の「神無月」は、どういう意味か分かりますよね！

さて、日本には、国語、書道、花道、茶道、お行儀など「無（む）」を大切にする文化があります。学校の教育活動でも「無」を大切にしています。宮之城中の生徒が清掃前にしている「黙想」も、一端それまで心の中にあったものを「無」にすることで、これからやろうとする清掃が、単に場所をきれいにするという作業だけでなく、心の成長につながるものになると考えているからでしょう。

「無」は「有」の逆ではありません。むしろ「無」から生じるのが「有」だと老子は説いています。そして、老子は「無」というものを、なにもないのではなく、ありとあらゆる可能性を含みもつ状態と悟っています。何か思い悩んでいる生徒、傲慢になっている生徒は、心を「無」にすることで、新たな「道」がひらけるかもしれませんね。

このように物質至上主義の中にあって、日本では「無（む）」の大切さがしっかりと受け継がれているのだと思います。

新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について

国内での新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、不安や偏見により、感染者やその家族等への誹謗中傷やいじめ、差別的な対応といった人権侵害が起きています。

わたしたちは、目に見えないウイルスや経験したことのない感染症に不安やおそれを感じ、遠ざけたいという心理から、感染症に関わる人を不必要に避けようとするなど、差別的な行動をとってしまうことがあります。新型コロナウイルスに感染した方、治療に当たっている医療関係者や社会機能の維持に当たっている方とその家族に対して、不当な差別、偏見、いじめ、SNS等での誹謗中傷が絶対にあってはなりません。そのような偏見や差別的な言動に同調せず、冷静になって、下の3つ（★）の行動をとってください。

- ★「確認しよう」… その噂や書き込みは正しい情報なのか。
- ★「想像しよう」… 自分の言動によって、相手がどんな気持ちになるかを考える。
- ★「感謝しよう」… 感染拡大防止や社会を支えるために、毎日頑張っている人がいることを理解し感謝する。



明日から夏休み！夏休みを利用して成長してほしい。

明日から8月31日まで40日間の夏休みです。多くの生徒が楽しみにしていることでしょう。本日の終業式では、学校長から次の3点についての話がありました。この夏休みに多くの体験を通して、生徒の皆さんが人間的に成長することを職員一同、願っています。

1. 自分の命は自分で守ってほしい。
2. 規則正しい生活を送り、計画的に家庭学習を進めてほしい。
3. 夏休みにしかできないことにチャレンジしてほしい。



【速報】令和2年度川薩地区中学校総合体育大会の結果

今年度は新型コロナウイルス感染症防止対策で、県大会は実施されません。他地区では地区大会も実施されない所もある中で、本地区は7月13日(月)～17日(金)に地区総体が開催されました。その結果をお知らせします。〔野球は2勝し、23日に決勝リーグへ進出。個人(剣道、卓球、陸上、水泳)は1位のみ掲載、ソフトテニス個人は実施されていません。〕



- 【団体】 1位(優勝) 女子バレーボール, 女子剣道, 女子ソフトボール
 2位 サッカー, 男子バレーボール, 男子剣道
 3位 男子卓球, 女子卓球, 女子バスケットボール

- 【個人】 剣道 女子個人 1位 ●●●● ※個人情報保護のため個人名省略
 陸上 1位 ●●●●(共通砲丸), ●●●●(共通3000, 3年1500)
 ●●●●(2年100), ●●●●(1年100, 大会新), ●●●●(共通走幅)
 ●●●●(3年800), ●●●●(共通1500, 2年800), ●●●●(1年800)
 水泳 1位 ●●●●(男子100自, 大会新) (男子50自, 大会新)



6・7月の学校の様子

〔命の教育(6/16)〕



〔人権同和教育特設授業(7/1)〕



〔吹奏楽部 中庭ライブ 6/16, 7/20〕



8・9月の主な行事予定

- 8月3日(月) 出校日
- 8月20日(木) さつま子チャレンジ館、イングリッシュキャンプ
- 8月21日(金) 出校日
- 9月1日(火) 始業式 3年実力テスト
- 9月2日(水) 3年実力テスト
- 9月10日(木) 体育大会予行
- 9月12日(土) 土曜授業
- 9月13日(日) 第2回体育大会
- 9月18日(金) 3年1日遠足



お知らせ



夏季休業期間における学校閉庁日について

さつま町小・中学校では、学校職員の心身の健康保持・増進を図り、意欲をもって働くことができる職場環境を整備することで教育の質の向上を図ることを目的に、本年度、下の3日間を学校閉庁日にしました。

令和2年8月12日(水)～14日(金)

なお、この期間中は、部活動や学校施設の開放等はいりません。



- ★ メガネのギルドの山内様より、傘30本と熱中症予防のための清涼飲料パウダーの寄贈がありました。昨年度も傘を寄贈していただいております。大切に使います。ありがとうございました。
- ★ 轟町在住の三浦哲郎様より、戦争中のさつま町の様子をまとめた資料をいただきました。平和学習に使用します。ありがとうございました。

